

たかはま  
**高浜地区**  
(石川県志賀町)

- 計画期間 平成17年度～平成21年度
- 面積 176.9ha
- 交付対象事業費 2,258百万円
- 町人口 19,418人 (地区内人口 3,369人)

**ポイント**

合併を機とし、新町の核となる市街地の形成

**地区概要**

河口部で、日本海に面した漁村集落の面影を残す密集市街地の周囲に、行政、福祉、文化、教育の拠点施設が集積立地している。

**目標**

既存の幹線道路や公共施設を有効に活かしながら、安心、快適に暮らすことができる居住環境を整え定住が促進される市街地の再生を目指す。

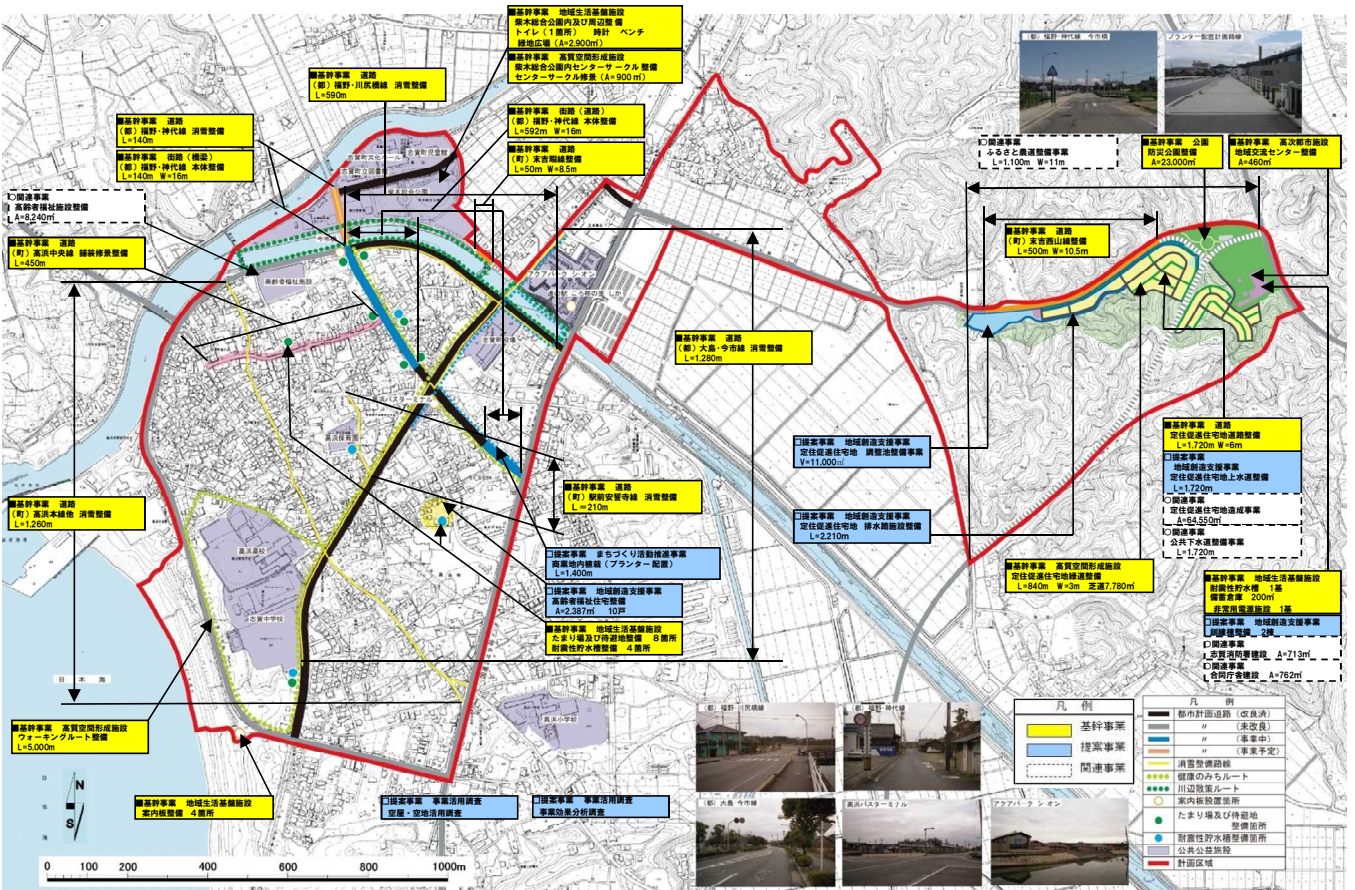
**指標**

中心市街地として、活力があり賑わいの創出が達成できたかを、人の動向で判断。

地区人口	4,057人 (16年度)	→	4,100人 (21年度)
まち歩き者数	13,151人 (15年度)	→	15,000人 (21年度)
施設利用者	84,396人 (14年度)	→	97,000人 (21年度)

**事業内容**

- 基幹事業 (1,804百万円) → 道路(幅員6m~16m、延長5,222m 橋梁1橋・舗装修景・消雪施設整備)、防災公園(2.3ha) 公園トイレ(1棟)、案内サイン4基、耐震性貯水槽5基、備蓄倉庫、非常用電源施設、散策路・緑化整備、地域交流センター整備 等
- 提案事業 (454百万円) → 排水路施設整備、調整池整備、上水道整備、高齢者福祉住宅整備、訓練棟整備、空屋・空地活用調査、事業評価分析調査、商業地内植栽(花のプランター配置)



完了地区 石川県

## 地区の現況と課題

かつて漁師町として栄えた当地区は、行商人が行き交い、旧商店街界隈は活気に満ちあふれていた。

モータリゼーションの影響で、狭小道路の多い旧市街地は崩壊し、新しいまちづくりの提案が期待されている。

車での移動の容易さに加え、歩いて楽しい、賑わいの創出が課題となっている。



▲ 定住促進住宅地

## 提案事業の特徴

### 空屋・空地活用調査と活用

まちなかの空屋・空地の分布状況や今後の利用動向などを調査し、まちなかの土地利用の更新、定住支援にむけた制度の検討を行い、活用を図る。

### 花のプランター配置

バスターミナル、庁舎、道の駅等の主要施設を連結する路線上に花のプランターを配置し、生活に潤いと安らぎを提供する。



▲ 高齢者福祉住宅の整備

## 計画策定プロセス

### 防災計画のなかで

都市計画街路 福野神代線中の橋梁（今市橋）は、幅員が狭く通行車両の荷重規制（6トン）がかけられており、防災計画上懸案となっていた。

柴木総合公園  
内施設の整備 ▶



▲ 都市計画道路 福野神代線の整備

### まちづくりアンケートの実施

アンケート調査により、まちづくりに対しての将来像「買い物や通院など便利のよいまち」などが浮き彫りとなった。

### まちづくり協議会での検証

地区住民代表や有識者により実施メニューの提案と検証が行われた。



▲ まちづくり協議会の様子